

〈 施工説明書 〉

アルミ子柱 ハーフユニット
アルミ子柱 フリーカット天井ユニット株式会社 ウッドワン 〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-813-331

[受付時間] 平日8:30～17:00 [休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

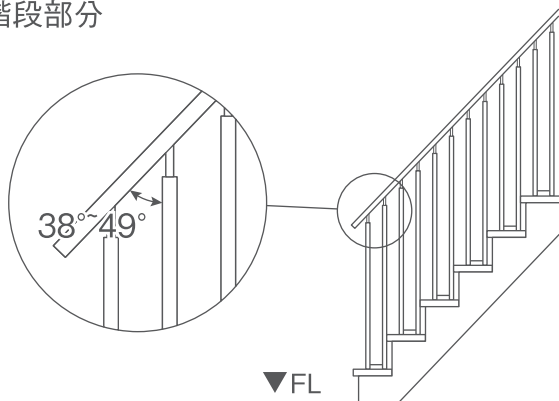
注意 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



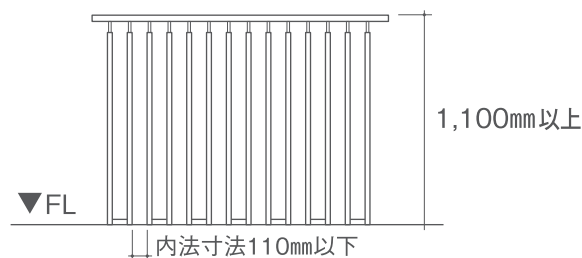
警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 階段ユニットの角度適応範囲は38°～49°のため、適応範囲外の角度での使用はおやめください。
- 子供がすり抜けないように2階ホール等を使用する場合は、ユニット間の内法を110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1100mm以上としてください。

■ 階段部分



■ 2階ホールなど



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。
- 商品を分解したり、修理、改造はしないでください。事故やケガの原因となります。



注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは連続して取り付けてください。
- 各部材を取り付ける際、電動ドライバーのトルク調整を行い、ネジを空転させないようご注意ください。
- 施工には、長尺ビットやL型ビットが必要になります。(下部記載)
- 本体柱には、施工時の傷防止として保護テープが貼ってありますので、施工完了まで剥がさないでください。

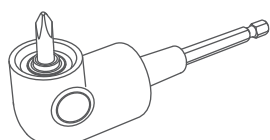
施工前の準備と確認 必要工具の確認

現場手配工具等

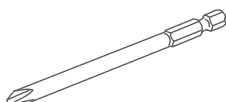
ロングビット(長さ30cm程度)
六角ソケット - 8mm
※六角アプセットタッピンねじ
使用時に必要となります。



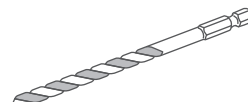
L型ビット
※笠木取付時に必要となります。



⊕ ビット - # 2



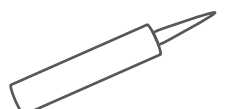
ドリルビット - 4mm程度
※5mmのビス使用時に
下穴用に必要となります。



ドリルビット - 2.5mm程度
※3.5mmのビス使用時に
下穴用に必要となります。

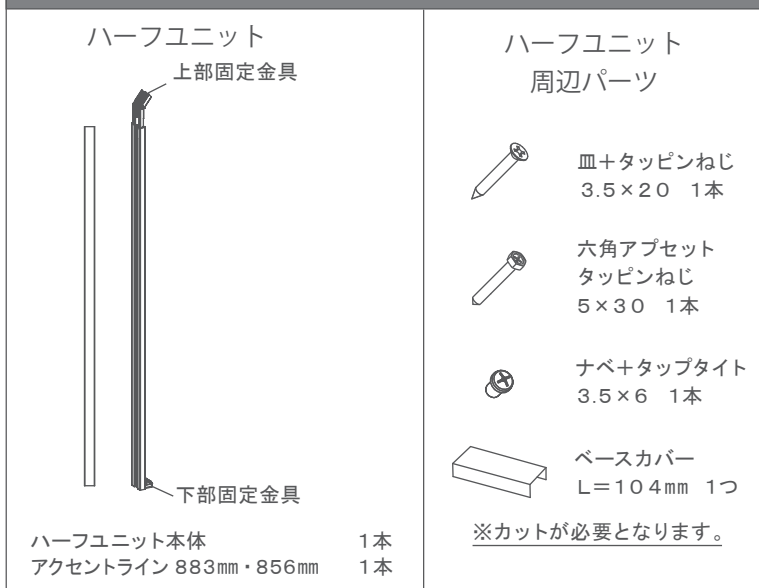


変成シリコンシーリング材
※ガタツキ・音鳴り防止に
必要となります。

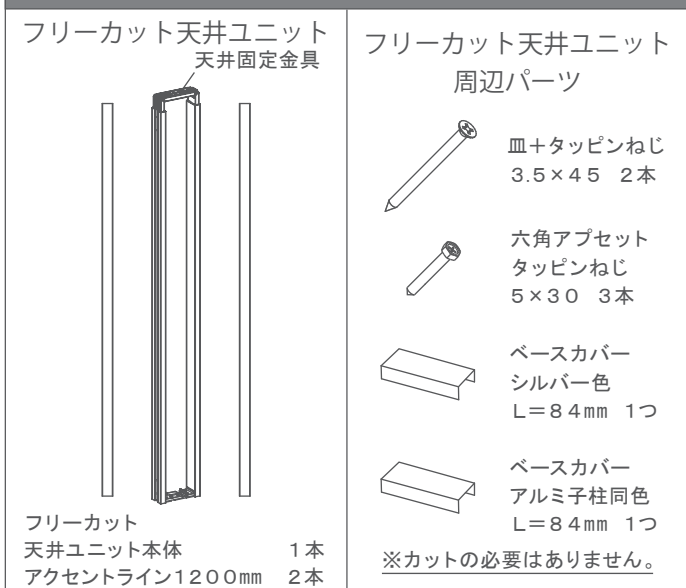


施工前の準備と確認 梱包内容の確認

ハーフユニットセット



フリーカット天井ユニットセット



ストレートジョイント[角度調整タイプ]



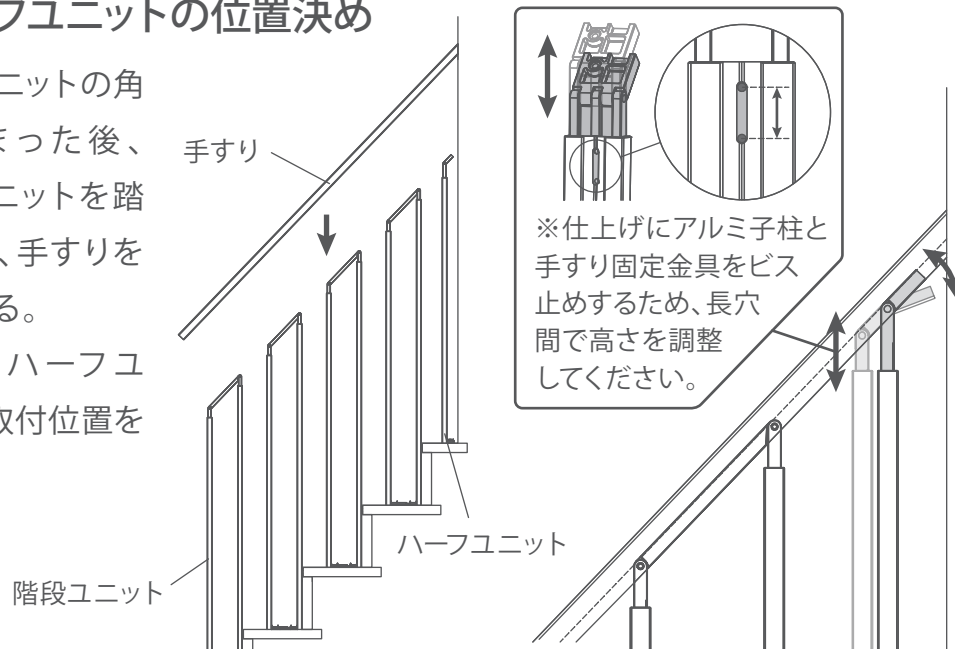
【ハーフユニット施工手順】 必ず下穴を開けてから取付けてください。(下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。)
柱の保護テープは施工終了まで剥がさないでください。

※階段ユニットの
[3]まで完了させて
ください。

別紙「アルミ子柱ユ
ニット」の【階段用施
工手順】の3手すり
取付まで先に完了さ
せ、手すりを外してく
ださい。

1 ハーフユニットの位置決め

①階段ユニットの角
度が決まった後、
ハーフユニットを踏
板に置き、手すりを
仮置きする。
その後、ハーフユ
ニットの取付位置を
決める。

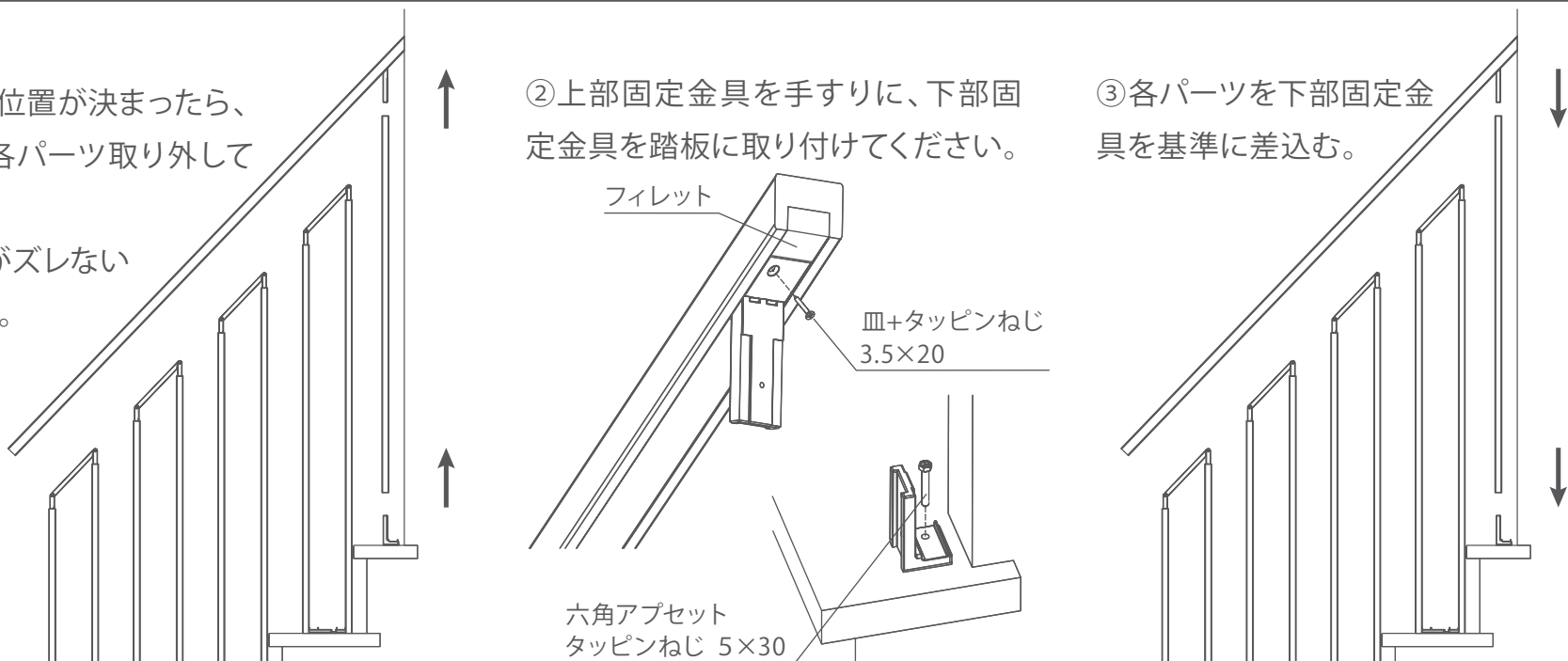


POINT

※斜線部の幅は子
柱内法が110mm
以内になるよう
にハーフユニッ
トを配置し、上
部固定金具の高
さの調節ができ
る範囲で取付位
置を決めてくだ
さい。
極端に壁側や階
段ユニット側に
寄りすぎると
きれいに仕上
がりません。

2 固定金具取付

①ハーフユニットの取付位置が決まったら、
下部固定金具を残し、各パーツ取り外して
ください。
※各パーツの取付位置がズレない
ように注意してください。



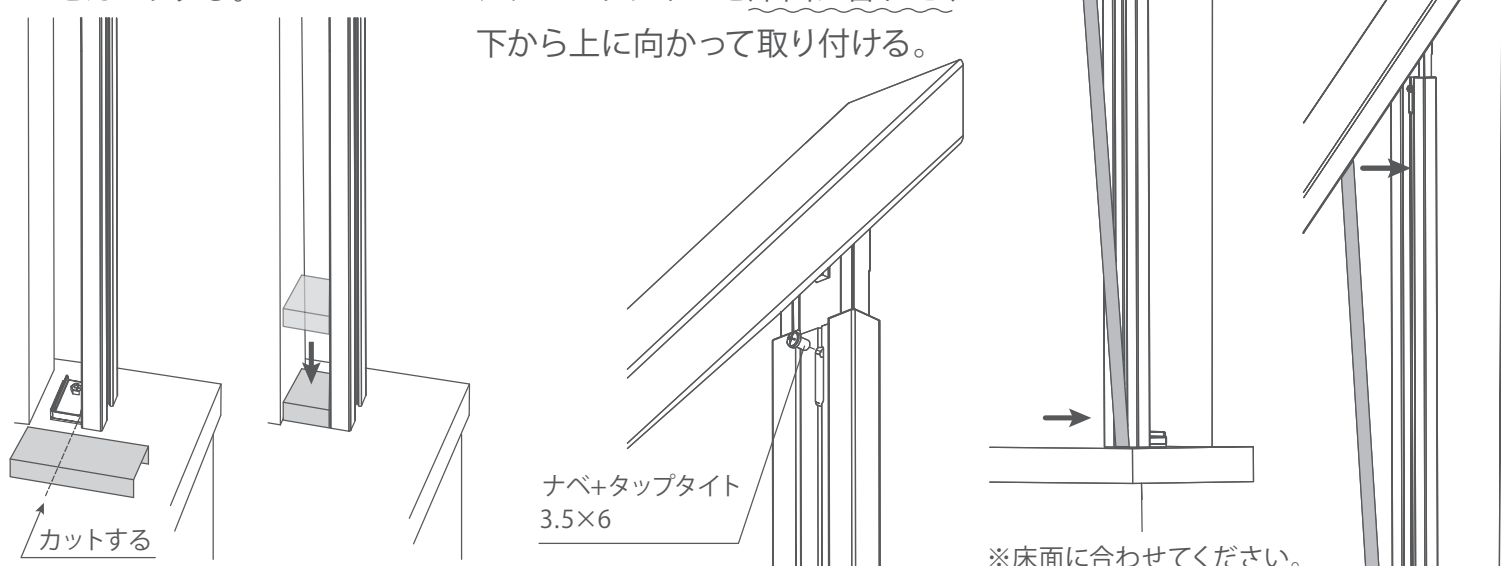
※階段ユニットの
施工を完了させて
ください。

別紙「アルミ子柱ユ
ニット」の【階段用
施工手順】の4階
段ユニット本固定ま
で先に完了させて
ください。

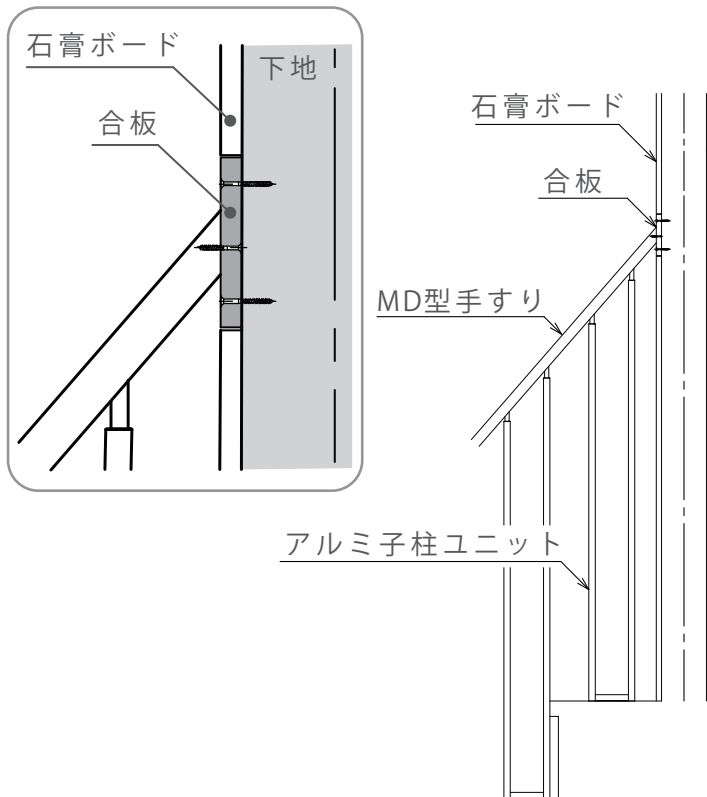
3 カバー、アクセントラインの取付 (※階段ユニットは別紙「アルミ子柱ユニット」の【施工仕上げ】をご覧ください。)

①アルミ子柱と壁の幅に合わせて、
ベースカバーをカットする。

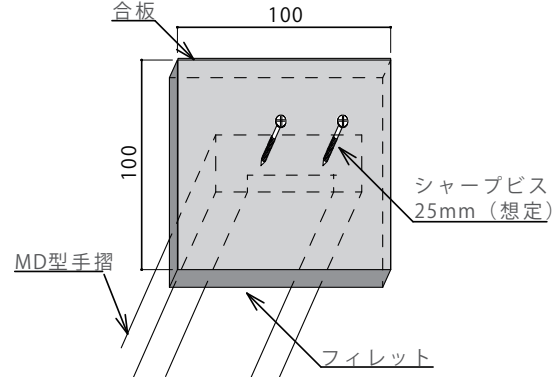
②上部固定金具をビス止めし、
アクセントラインを床面に合わせ、
下から上に向かって取り付ける。



4 手すりと壁面の施工



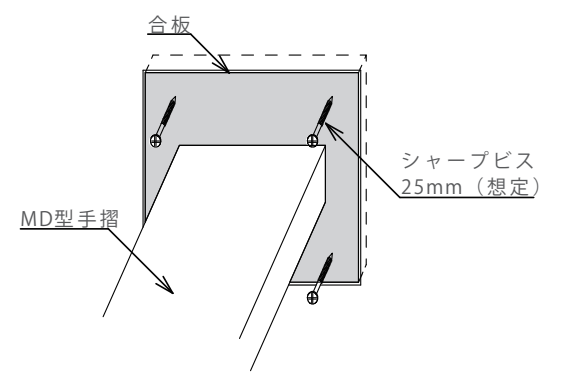
①MD型手すり上端部(木口)への合板の取付け



手すり端部を壁面固定する場合、手すり上端部木口に石膏ボードと同厚の合板(100mm角)を取付け、ロゼットの代わりにして固定します。ビス先端が手すり化粧面から飛び出さないように、ビスを固定する位置の材厚を確認してから、合板の取付けをして下さい。(ビス2本以上)合板取付け前に、MD型手摺には接着材でフィレットを取付け、接着材硬化後、手すり木口にも接着材を塗布し図のようにビス固定をします。

参考図は25mmシャープビスを想定しています。

②壁面への固定方法



事前に取付け箇所には、合板を固定できる下地があるか確認をして下さい。

手すり施工時に既に石膏ボードが施工されている場合、手すり固定箇所の壁面部分の石膏ボードを切欠き、合板を嵌め込むように設置します。石膏ボードの取付けが後工程の場合は、切欠きの必要はありません。

ビス固定は4箇所以上で固定して下さい。継目やビス頭を丁寧にパテ埋めして、仕上げて下さい。

【フリーカット天井ユニット施工手順】

必ず下穴を開けてから取付けてください。(下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。)柱の保護テープは施工終了まで剥がさないでください。

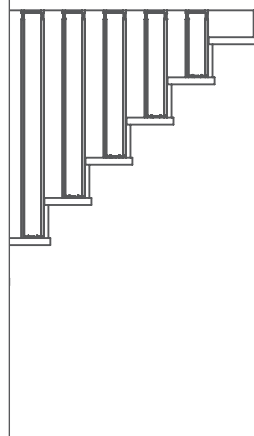
1 天井高さ計測

①フリーカット天井ユニットを使用する箇所を割り出すため、踏板から天井の高さを計る。
※1251mmを超える高さは、階段ユニットを使用します。



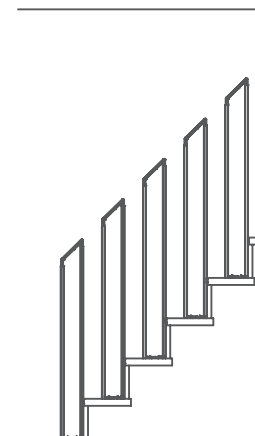
※高さが1250mm以下の場合

フリーカット天井ユニットを使用します。別紙「アルミ子柱ユニット」の【階段用施工手順】の1-①を参考に取付位置を出して下さい。



※高さが1251mm以上の場合

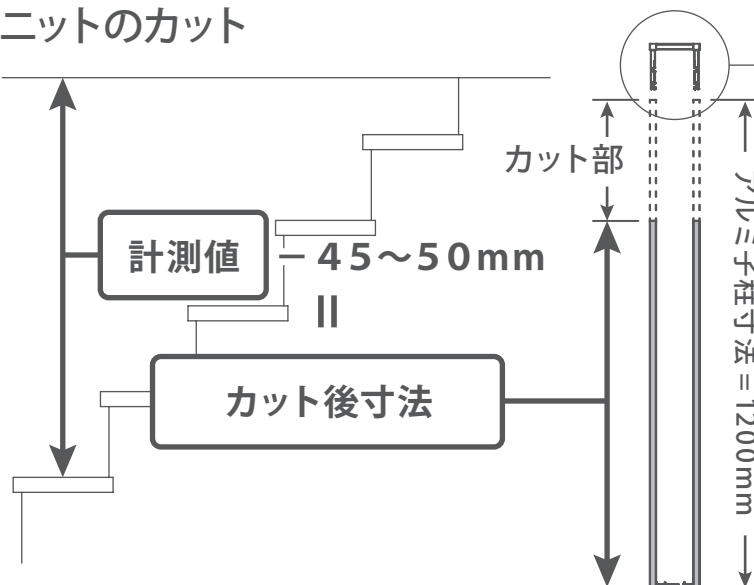
階段ユニットを使用します。別紙「アルミ子柱ユニット」の【階段用施工手順】をご覧になり、2ユニット仮固定まで行ってください。



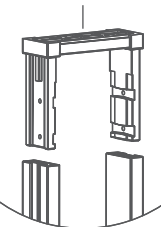
2 フリーカット天井ユニットのカット

①フリーカット天井ユニットのアルミ子柱部分の上部を計測した高さから-45～-50mmの寸法でカットする。

※マイナスする長さを統一すると、取り付けた時のカット面のラインが揃い、きれいに仕上がります。

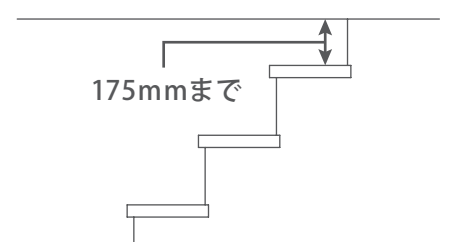


天井固定金具



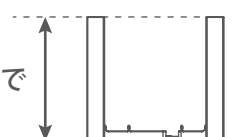
※上部の天井固定金具を取り外してからアルミ子柱部分の上部をカットしてください。

※天井の有効高さは最低で175mmとなります。それ以下の場合はユニットの取り付けを行わないでください。



※アルミ子柱の有効カット寸法は「175-45～50=130～125mm」までとなります。

130～125mmまで

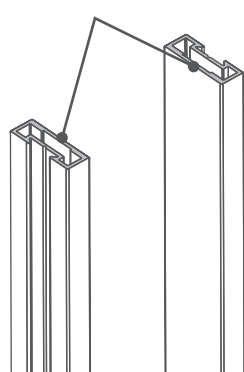


計算例

1本目：1000mm(計測値)-45mm(マイナス値)=955mm(カット後寸法)
2本目：770mm(計測値)-45mm(マイナス値)=725mm(カット後寸法)

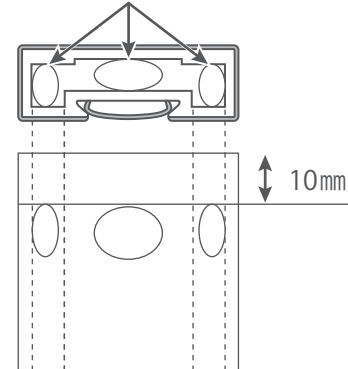
②アルミ子柱部分の上部をカット後、切残りや切断面のバリはやすり等で確実に除去し、1mm程度の面取りを施してください。素地が露出している部分は、オプション(別売)のタッチアップで着色し仕上げて下さい。

カット面処理



③天井固定金具を差し込む部分(カット面から約10mm下)に変成シリコンシーリング材(現場手配)を塗布してください。塗布後、天井への固定までは速やかに行ってください。

変成シリコンシーリング材(現場手配)

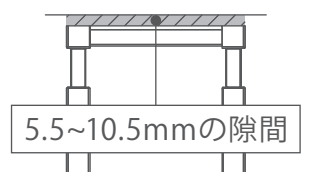
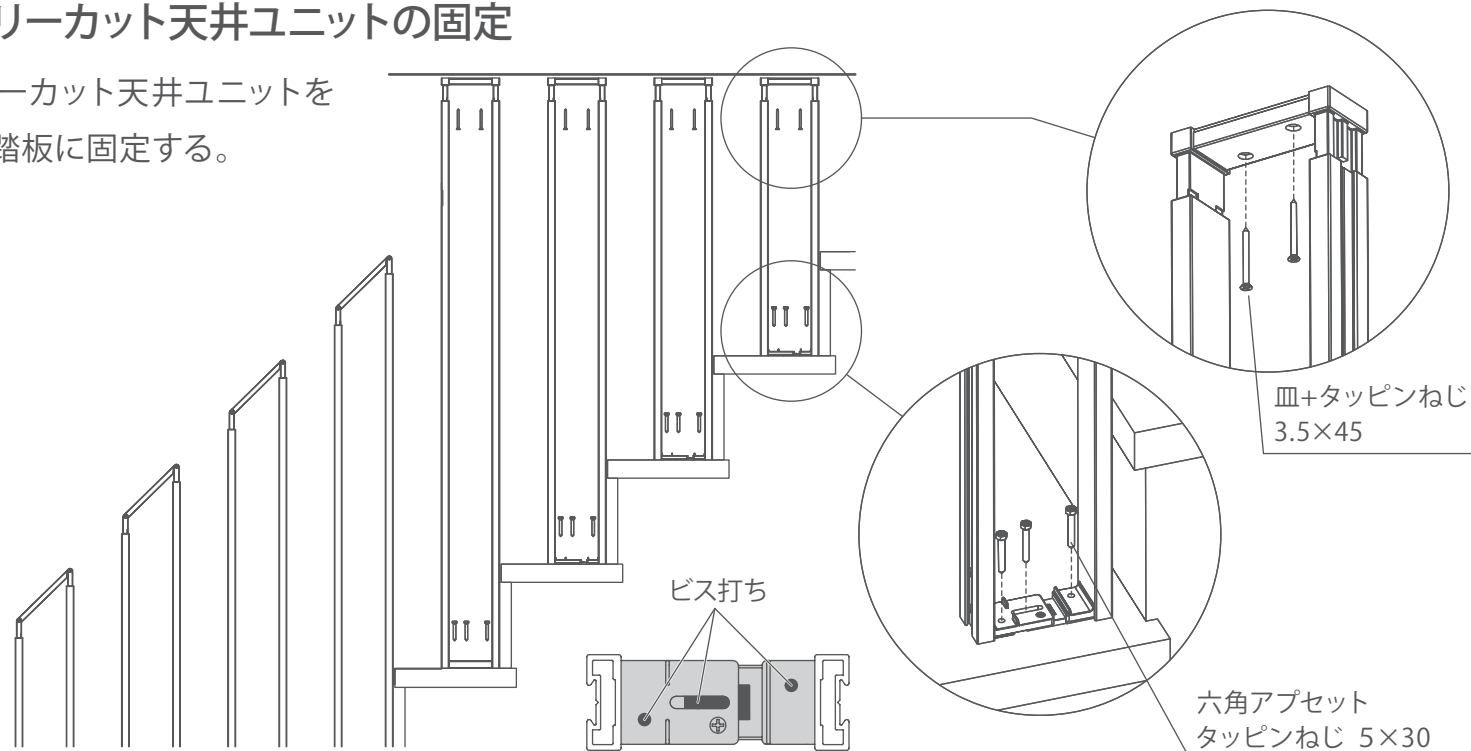


④カットしたアルミ子柱に天井固定金具を戻す。

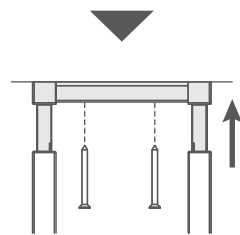


3 フリーカット天井ユニットの固定

①フリーカット天井ユニットを天井、踏板に固定する。



天井と天井固定金具の間に5.5~10.5mmの隙間をつくります。

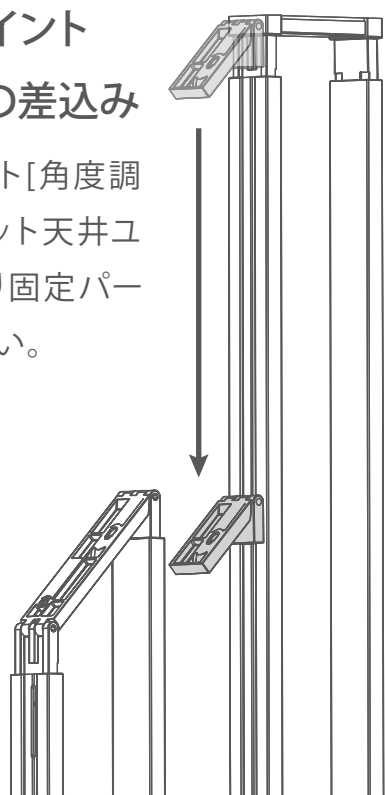
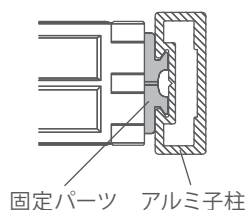


天井固定金具を引き上げて、天井にビス固定してください。

4 ストレートジョイント [角度調整タイプ]の差込み

①ストレートジョイント[角度調整タイプ]をフリーカット天井ユニットの縦溝上部より固定パーツを差し込んでください。

※図のように差込んでください。



※階段ユニットの施工を完了させてください。

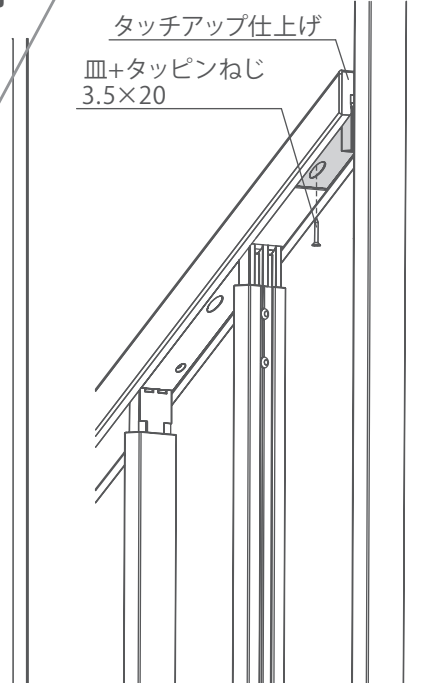
次にストレートジョイント[角度調整タイプ]を手すりに取付けます。階段ユニットと角度を揃えるため、別紙「アルミ子柱ユニット」の【階段用施工手順】の4階段ユニット本固定まで先に完了させてください。

5 ストレートジョイント [角度調整タイプ]の取付

①階段に固定された手すりに角度を合わせ、ストレートジョイント[角度調整タイプ]を取り付ける。

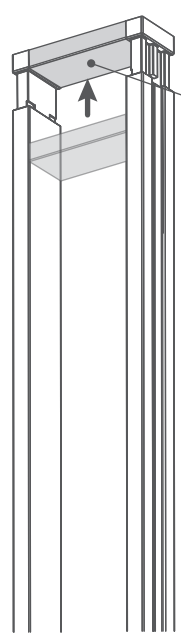
○部に変成シリコンシーリング材を塗布してください。

タッチアップ仕上げ
皿+タッピンねじ 3.5×20



6 カバー、アクセントライン取付 (※階段ユニットは別紙「アルミ子柱ユニット」の【施工仕上げ】をご覧ください。)

①カバーを取り付ける。



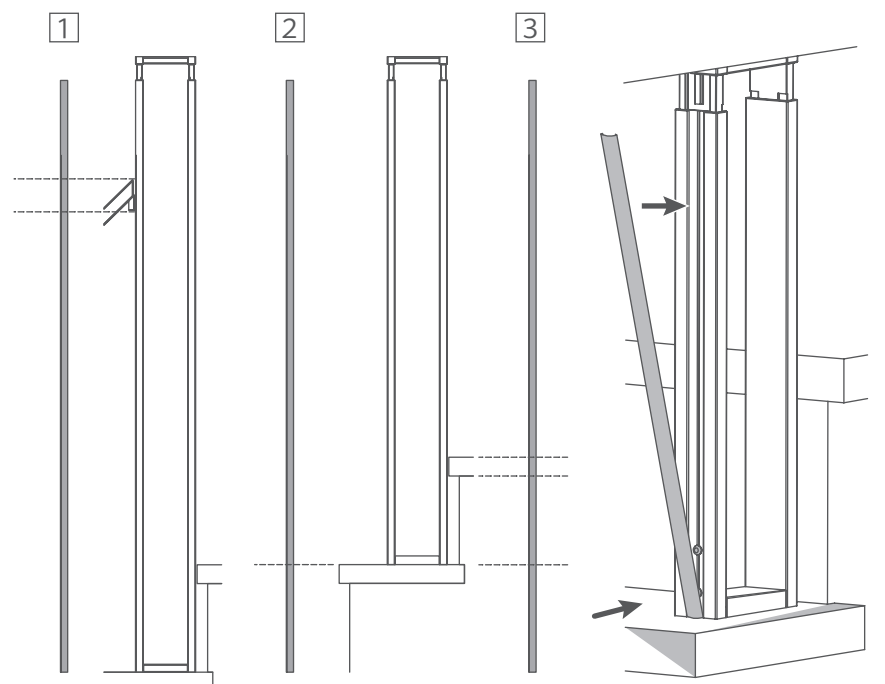
※上部のカバーはアルミ子柱の色を問わず、シルバーとなります。

※下部のカバーはアルミ子柱と同じ色になります。

②アクセントラインをカット後、床面に合わせ、下から上に向かって取り付ける。
※フリーカット天井ユニットのアクセントラインは必ずカットが必要になります。

- 1 ストレートジョイント[角度調整タイプ]に合わせてカット
- 2 アルミ子柱カット寸法に合わせてカット
- 3 踏板側は板厚に合わせてカット

----- カット位置



※床面に合わせてください。

【施工終了後】

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼りつけないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。